

第 1 河川・ため池・海域の状況

1 公共用水域の水質常時監視結果

公共用水域の水質常時監視は、水質汚濁防止法第16条の規定により愛知県知事が作成した令和3（2021）年度公共用水域の水質測定計画及び市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例（「環境保全条例」という。以下同じ。）第10条に基づき実施したものである。

（1）調査期間

令和3年4月～令和4年3月

（2）調査項目

ア 水質汚濁防止法に基づく水質常時監視

〈河川・海域〉

生活環境項目	溶存酸素量（DO）、生物化学的酸素要求量（BOD）等	12項目
健康項目	カドミウム、全シアン等	27項目
要監視項目	ホルムアルデヒド、ニッケル等	9項目
特殊項目	フェノール類、クロム等	5項目
その他の項目	塩化物イオン、電気伝導率等	12項目

〈底質〉

一般項目	pH、化学的酸素要求量（COD）等	11項目
健康項目	カドミウム、全シアン等	7項目
特殊項目	フェノール類、銅等	6項目

イ 環境保全条例に基づく水質常時監視

水質の汚濁に関する項目	DO、BOD等	11項目
水の安全性に関する項目	カドミウム、全シアン等	27項目
その他の項目	塩化物イオン、電気伝導率等	9項目

（3）調査地点数・調査地点

表 1-1、1-2 及び図 1-1 のとおり。

（4）測定方法・評価方法

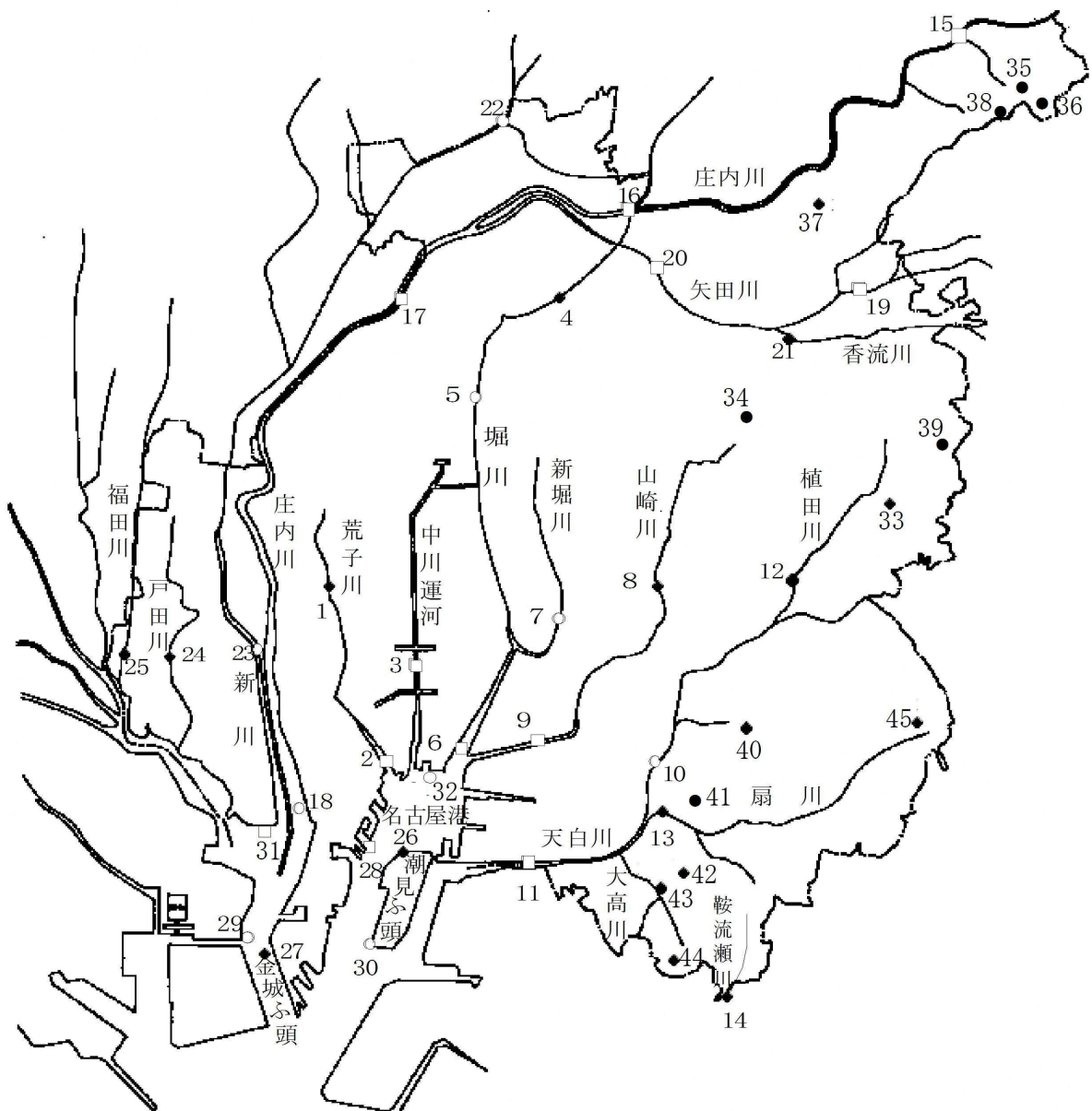
測定方法は、資料 1に掲げる方法とした。

評価方法は、資料 2、資料 3に示す環境基準及び環境目標値により評価した。

生活環境項目のうち、「BOD、COD」の環境基準、環境目標値達成状況の判定は、環境庁の通達（水質保全局水質管理課長、昭和52年 7月 1日付け環水管第52号）、平成25年名古屋市告示第 506号に従って、年間を通じた日間平均値の全データのうち、75%以上のデータが環境基準、環境目標値を満足している場合に適合しているものと評価した。なお、環境基準の評価において、複数の環境基準点がある水域は、全ての地点が環境基準に適合している場合に達成したものと判断した。

表 1-1 調査地点数

	水質汚濁防止法に基づく 調査地点数	環境保全条例に基づく 調査地点数	計
河川	16	9	25
海域	5	2	7
ため池	—	13	13
計	21	24	45



- 水質汚濁防止法に基づく調査地点のうち環境基準点
- 水質汚濁防止法に基づく調査地点
- 環境保全条例に基づく調査地点

図 1-1 公共用水域調査地点図

表 1-2(1) 調査地点 (河川)

	水域名	調 査 地 点		調査担当機関
		水質汚濁防止法に基づく調査地点	環境保全条例に基づく調査地点	
河 川	荒子川	—	1 境橋 (中川区)	名 古 屋 市
		2 荒子川ポンプ所 (港区)	—	〃
	中川運河	3 東海橋 (港区)	—	〃
	堀川	—	4 猿投橋 (北区)	〃
		5 小塩橋 (西区・中区)	—	〃
		6 港新橋 (港区)	—	〃
	新堀川	7 日の出橋 (熱田区・瑞穂区)	—	〃
	山崎川	—	8 鼎 (かなえ) 橋 (瑞穂区)	〃
		9 道徳橋 (南区)	—	〃
	天白川	10 天白橋 (南区・緑区)	—	〃
		11 千鳥橋 (南区・東海市)	—	〃
	植田川	—	12 植田橋 (天白区)	〃
	扇川	—	13 鳴海橋 (緑区)	〃
	鞍流瀬川	—	14 梶田橋 (緑区)	〃
	庄内川	15 大留橋 (守山区・春日井市)	—	国 土 交 通 省
		16 水分橋 (北区・守山区)	—	〃
		17 枇杷島橋 (西区・清須市)	—	〃
		18 庄内新川橋 (港区)	—	〃
	矢田川	19 大森橋 (守山区)	—	名 古 屋 市
		20 天神橋 (北区・守山区)	—	国 土 交 通 省
	香流川	—	21 香流橋 (千種区)	名 古 屋 市
	新川	22 比良新橋 (西区・北名古屋市)	—	愛 知 県
		23 日の出橋 (中川区・港区)	—	名 古 屋 市
	戸田川	—	24 新東福橋 (港区)	〃
	福田川	—	25 新西福橋 (港区)	〃

注 1 □数字は、水質汚濁防止法に基づく調査地点のうち、環境基準点である。

2 水質汚濁防止法に基づく調査地点の調査結果については、環境目標値による評価も行っている。

表 1-2(2) 調査地点（海域、ため池）

	水域名	調 査 地 点		調査担当機関
		水質汚濁防止法に基づく調査地点	環境保全条例に基づく調査地点	
海 域	名古屋港	—	26 潮見ふ頭北（港区）	名 古 屋 市
		—	27 金城ふ頭西（港区）	〃
		28 N-1 〈潮見ふ頭西〉（港区）	—	〃
		29 N-10 〈庄内川河口〉（港区）	—	〃
		30 N-11 〈潮見ふ頭南〉（港区）	—	〃
		31 N-14 〈藤前干潟〉（港区）	—	〃
		32 M-1 〈カーテンふ頭〉（港区）	—	〃
た め 池		—	33 牧野池（名東区）	〃
		—	34 猫ヶ洞池（千種区）	〃
		—	35 大久手池（守山区）	〃
		—	36 大村池（守山区）	〃
		—	37 緑ヶ池（守山区）	〃
		—	38 安田池（守山区）	〃
		—	39 塚ノ杵池（名東区）	〃
		—	40 戸笠池（緑区）	〃
		—	41 新海池（緑区）	〃
		—	42 琵琶ヶ池（緑区）	〃
		—	43 蝮池（緑区）	〃
		—	44 水主ヶ池（緑区）	〃
		—	45 荒池（天白区）	〃

注 1 □数字は、水質汚濁防止法に基づく調査地点のうち、環境基準点である。

2 水質汚濁防止法に基づく調査地点の調査結果については、環境目標値による評価も行っている。

(5) 調査結果概要

ア 生活環境項目（水質の汚濁に関する項目）

45地点（15河川25地点、海域 7地点、ため池13地点）でDO、BOD等12項目の調査を実施した。

(ア) 水質の状況（図1-5、1-6、表1-3、1-4、1-5参照）

a 河川

河川の水質の状況を代表的な水質指標であるBODでみると、75%水質値が8mg/Lを超える水域は、荒子川、戸田川であり、3mg/L以下の水域は、堀川上流部、山崎川上流部、庄内川中流部等であった。

令和2年度と比較すると、中川運河（東海橋）、堀川（港新橋）等で改善がみられた。

b 海域

海域の水質の状況を代表的な水質指標であるCODでみると、75%水質値が5mg/Lを超え8mg/L以下の地点は1地点、3mg/Lを超え5mg/L以下の地点は6地点であった。

c ため池

ため池の水質の状況を代表的な水質指標であるCODでみると、75%水質値が8mg/Lを超える地点は7地点、6mg/Lを超え8mg/L以下の地点は3地点であり、6mg/L以下の地点は3地点であった。

(イ) 環境基準及び環境目標値の達成状況（図1-2、1-3、表1-3、1-4参照）

各河川、海域、ため池には、場所によって区分した環境基準及び環境目標値が定められている。環境基準及び環境目標値については資料2、資料3のとおりである。

a 河川のBOD

(a) 環境基準 : 10水域すべてで達成した。(達成率: 100%)

(b) 環境目標値: 25地点のうち19地点で達成し、6地点で達成しなかった。
(達成率: 76%)

b 海域のCOD

(a) 環境基準 : 1水域すべてで達成した。(達成率: 100%)

(b) 環境目標値: 7地点のうち3地点で達成し、4地点で達成しなかった。
(達成率: 43%)

c ため池のCOD

(a) 環境目標値: 13地点のうち3地点で達成し、10地点で達成しなかった。
(達成率: 23%)

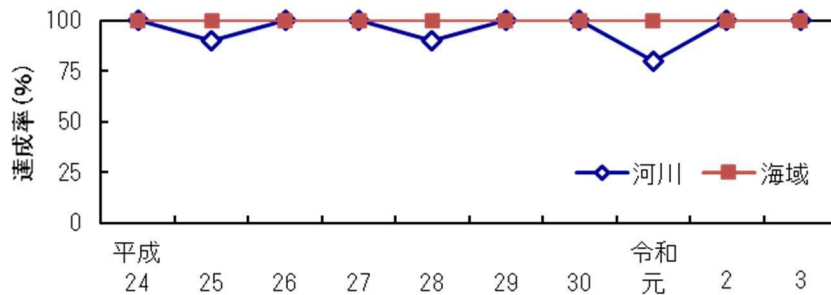


図1-2 環境基準達成率（河川はBOD、海域はCOD）の10年間の推移

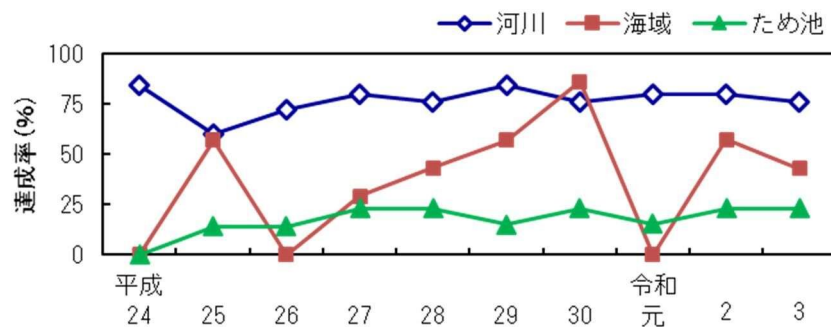


図 1-3 環境目標値達成率（河川はBOD、海域・ため池はCOD）の 10 年間の推移

(ウ) 河川、海域及びため池におけるBOD又はCODの推移（全市年間平均値）

河川、海域及びため池におけるBOD又はCODの全市年間平均値は、過去10年間で概ね横ばいで推移している。

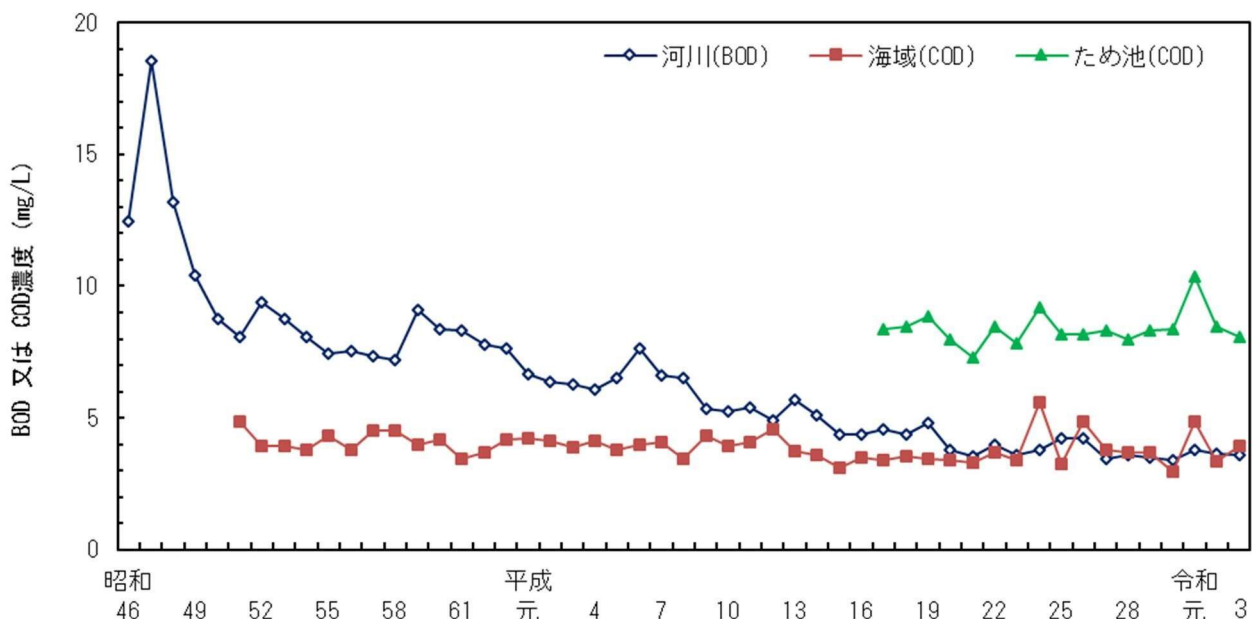


図 1-4 全市年間平均値（河川はBOD、海域・ため池はCOD）の推移

イ 健康項目（水の安全性に関する項目）（表1-12参照）

27地点（15河川22地点、海域 4地点、ため池 1地点）でカドミウム等27項目、1,410検体の調査を実施した。

結果は、25地点で環境基準及び環境目標値を達成したが、荒子川ポンプ所（荒子川）で1,2-ジクロロエタン、鳴海橋（扇川）でほう素について、環境基準及び環境目標値を超過した。

ウ 要監視項目（表1-13参照）

12地点（7河川10地点、海域 2地点）でホルムアルデヒド等 9項目、95検体の調査を実施した。

エ 特殊項目（表1-14参照）

13地点（7河川10地点、海域 3地点）でフェノール類等 5項目、81検体の調査を実施した。

（6）調査結果

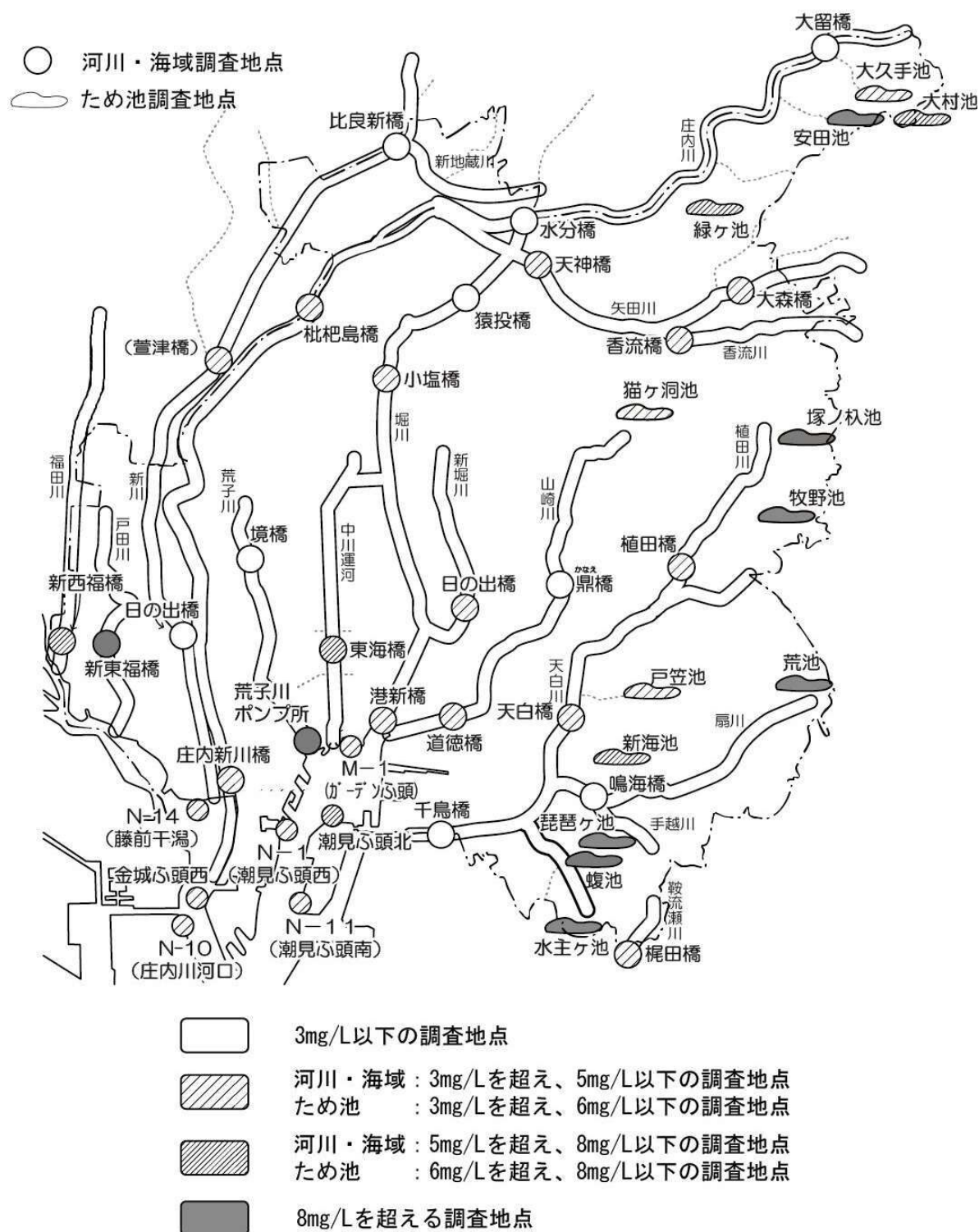


図 1-5 水質の状況（75%水質値（河川はBOD、海域・ため池はCOD））

表 1-3 環境基準の達成状況

(河川はBOD、海域はCOD)

(単位：mg/L)

	水域名	環境基準点	環境基準 類型	環境基準	達成状況(年度)			
					令和 元	2	3	75%水質値
河 川	荒子川	荒子川ポンプ所	E	10	○	○	○	8.1
	中川運河	東海橋	E	10	×	○	○	7.5
	堀川	港新橋	D	8	×	○	○	3.6
	山崎川	道徳橋	D	8	○	○	○	3.7
	天白川	千鳥橋	C	5	○	○	○	2.8
	庄内川 中流(2)	大留橋	C	5	○	○	○	1.1
		水分橋						2.3
	庄内川下流	枇杷島橋	C	5	○	○	○	3.5
	矢田川上流	大森橋	D	8	○	○	○	3.9
	矢田川下流	天神橋	C	5	○	○	○	3.4
海 域	名古屋港(甲)	N-1	C	8	○	○	○	4.8
		*N-2						3.8
		*N-3						3.0

注1 *印については市外調査地点ではあるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

注2 「庄内川中流(2)」、「庄内川下流」及び「矢田川下流」については、水域類型が見直され、令和2年3月にD類型からC類型へ引き上げられた。令和元年度の達成状況はD類型で評価した。

表1-4(1) 環境目標値の達成状況（河川）

（BOD）

（単位：mg/L）

	水域名	調査地点	地域区分	環境目標値	達成状況（年度）			
					令和元	2	3	75%水質値
河川	荒子川	境橋	☆☆☆	3	×	○	○	1.8
		荒子川ポンプ所	☆	8	○	○	×	8.1
	中川運河	東海橋	☆☆	5	×	×	×	7.5
	堀川	猿投橋	☆☆☆	3	○	○	○	1.7
		小塩橋	☆☆☆	3	×	×	×	4.7
		港新橋	☆☆	5	×	○	○	3.6
	新堀川	日の出橋	☆	8	○	○	○	3.7
	山崎川	鼎(かなえ)橋	☆☆☆	3	○	○	○	1.3
		道德橋	☆	8	○	○	○	3.7
	天白川	天白橋	☆☆	5	○	×	○	4.0
		千鳥橋	☆☆	5	○	○	○	2.8
	植田川	植田橋	☆☆☆	3	○	○	×	3.3
	扇川	鳴海橋	☆☆☆	3	○	○	○	1.5
	鞍流瀬川	梶田橋	☆	8	○	○	○	4.7
	庄内川	大留橋	☆☆☆	3	○	○	○	1.1
		水分橋	☆☆	5	○	○	○	2.3
		枇杷島橋	☆☆	5	○	○	○	3.5
		庄内新川橋	☆☆	5	○	○	○	3.6
	矢田川	大森橋	☆	8	○	○	○	3.9
		天神橋	☆	8	○	○	○	3.4
	香流川	香流橋	☆☆	5	○	×	○	4.0
	新川	比良新橋	☆☆	5	○	○	○	3.0
		日の出橋	☆☆	5	○	○	○	1.8
	戸田川	新東福橋	☆	8	×	×	×	10
	福田川	新西福橋	☆☆	5	○	○	×	5.5

表1-4(2) 環境目標値の達成状況（海域、ため池）

(COD)

(単位：mg/L)

	水域名	調査地点	地域区分	環境目標値	達成状況(年度)			
					令和元	2	3	75%水質値
海 域	名古屋港	潮見ふ頭北	☆	5	×	○	×	6.2
		金城ふ頭西	☆☆	3	×	×	×	4.3
		N-1 〈潮見ふ頭西〉	☆	5	×	○	○	4.8
		N-1 0 〈庄内川河口〉	☆☆	3	×	×	×	4.4
		N-1 1 〈潮見ふ頭南〉	☆	5	×	○	○	3.8
		N-1 4 〈藤前干潟〉	☆☆	3	×	×	×	4.4
		M-1 〈ガーデンふ頭〉	☆	5	×	○	○	5.0
た め 池	牧野池		☆☆	6	×	×	×	12
	猫ヶ洞池		☆☆	6	×	○	○	5.4
	大久手池		☆☆	6	○	○	○	3.9
	大村池		☆☆	6	×	×	×	7.3
	緑ヶ池		☆☆	6	×	×	×	6.5
	安田池		☆☆	6	×	×	×	11
	塚ノ杓池		☆☆	6	×	×	×	9.7
	戸笠池		☆☆	6	○	○	○	5.2
	新海池		☆☆	6	×	×	×	7.2
	琵琶ヶ池		☆☆	6	×	×	×	11
	蝮池		☆☆	6	×	×	×	11
	水主ヶ池		☆☆	6	×	×	×	12
	荒池		☆☆	6	×	×	×	9.4

表1-5(1) 75%水質値一覧表（河川）

（BOD）

（単位：mg/L）

	水域名	調査地点	75%水質値（年度）									
			平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
河川	荒子川	境橋	3.7	3.3	4.1	3.7	4.4	1.5	3.0	4.3	1.9	1.8
		荒子川ポンプ所	5.6	9.5	7.4	5.8	4.7	5.4	8.9	5.9	7.2	8.1
	中川運河	東海橋	6.8	7.0	10	8.2	9.7	7.6	6.8	17	10	7.5
	堀川	猿投橋	2.6	2.8	2.0	1.5	1.3	1.8	2.4	2.1	2.2	1.7
		小塩橋	5.2	3.4	5.1	6.0	3.4	4.3	3.2	3.1	3.8	4.7
		港新橋	4.8	5.8	5.2	4.2	6.5	5.8	4.2	8.7	4.7	3.6
	新堀川	日の出橋	3.4	3.8	5.6	4.6	6.0	4.8	3.9	5.4	4.2	3.7
	山崎川	鼎(かなえ)橋	1.8	1.5	1.8	1.5	1.4	1.8	1.6	1.6	1.5	1.3
		道德橋	5.7	5.8	7.8	3.4	8.1	5.1	3.2	7.3	4.4	3.7
	天白川	天白橋	6.6	5.8	7.1	2.9	3.2	4.3	5.5	3.5	5.2	4.0
		千鳥橋	4.0	5.6	4.6	2.8	3.7	3.9	2.9	2.6	4.0	2.8
	植田川	植田橋	2.5	1.8	2.0	1.9	1.5	2.8	2.1	2.0	1.9	3.3
	扇川	鳴海橋	2.0	1.7	1.8	1.1	1.8	1.5	1.2	2.0	2.4	1.5
	鞍流瀬川	梶田橋	7.6	11	9.1	8.9	8.7	5.6	5.0	3.9	4.8	4.7
	庄内川	大留橋	1.5	1.8	1.3	1.5	1.4	1.5	1.1	1.3	1.7	1.1
		水分橋	3.8	3.4	3.1	3.1	2.9	3.5	3.8	4.6	2.8	2.3
		枇杷島橋	4.1	3.3	2.7	2.9	2.7	3.0	3.4	4.1	4.0	3.5
		庄内新川橋	2.6	2.0	2.2	2.5	1.5	2.6	1.5	2.3	1.7	3.6
	矢田川	大森橋	7.1	6.5	7.1	5.7	7.5	5.1	7.6	7.4	4.9	3.9
		天神橋	4.0	4.1	3.5	3.0	3.1	3.1	3.7	3.4	3.0	3.4
	香流川	香流橋	3.4	3.0	2.7	2.9	2.3	3.0	3.2	3.1	6.1	4.0
	新川	比良新橋	3.2	3.7	2.6	2.1	3.2	3.0	3.3	2.4	2.3	3.0
		* 萱津橋	4.0	3.2	3.4	3.0	3.4	3.5	5.0	3.8	3.7	3.8
		日の出橋	2.8	2.1	2.2	1.6	2.0	2.3	2.6	1.5	2.2	1.8
	戸田川	新東福橋	11	10	9.9	8.3	8.0	9.7	12	13	9.9	10
	福田川	新西福橋	5.2	5.8	4.9	4.2	4.5	3.8	5.2	4.9	4.5	5.5

注 *印については市外調査地点ではあるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

表1-5(2) 75%水質値一覧表（海域、ため池）

(COD)

(単位：mg/L)

	水域名	調査地点	75%水質値（年度）									
			平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
海 域	名古屋港	潮見ふ頭北	5.8	4.3	9.5	6.6	6.0	4.1	2.8	7.4	4.7	6.2
		金城ふ頭西	5.5	3.5	4.3	4.0	3.0	3.3	3.0	4.3	3.2	4.3
		N-1 〈潮見ふ頭西〉	7.1	3.5	6.0	5.1	5.3	4.0	3.7	6.8	5.0	4.8
		N-10 〈庄内川河口〉	7.3	3.1	4.5	3.8	3.6	4.3	3.6	4.6	3.7	4.4
		N-11 〈潮見ふ頭南〉	5.3	3.0	6.0	4.3	3.6	4.0	3.4	5.9	4.1	3.8
		N-14 〈藤前干潟〉	—	4.2	5.8	4.3	3.8	3.5	3.0	4.3	4.0	4.4
		M-1 〈ガーデンふ頭〉	7.9	4.6	8.3	4.8	4.3	4.8	3.1	8.2	4.8	5.0
		* N-2	4.5	4.4	3.6	4.2	4.5	3.7	3.8	4.8	4.3	3.8
		* N-3	3.7	3.7	3.7	3.1	3.6	3.3	3.4	4.1	3.6	3.0
た め 池	牧野池		9.3	11	10	10	10	11	10	10	10	12
	猫ヶ洞池		—	6.7	—	4.9	4.6	6.0	5.5	7.0	5.7	5.4
	大久手池		—	4.7	—	4.0	3.0	3.7	3.8	4.7	3.6	3.9
	大村池		—	7.3	—	7.1	9.0	7.2	9.0	7.7	6.3	7.3
	緑ヶ池		6.6	—	5.5	5.7	6.7	6.3	5.9	6.8	6.1	6.5
	安田池		—	13	—	9.6	10	11	14	12	12	11
	塚ノ杓池		—	8.0	—	7.9	7.9	8.4	8.7	11	8.1	9.7
	戸笠池		6.7	—	6.6	7.6	5.5	7.6	6.5	5.7	5.0	5.2
	新海池		—	8.8	—	8.7	6.5	9.4	9.6	14	7.5	7.2
	琵琶ヶ池		9.4	—	9.0	8.3	8.9	9.7	9.2	10	8.7	11
	蝮池		8.2	—	6.9	8.5	8.1	8.9	7.3	8.0	7.1	11
	水主ヶ池		12	—	9.1	13	14	9.9	15	11	16	12
	荒池		10	—	11	15	15	18	9.5	13	13	9.4

注1 *印については市外調査地点ではあるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

2 平成26年度以前は、牧野池以外のため池は6地点ずつ隔年で調査を実施し、平成27年度以降は毎年調査を実施している。

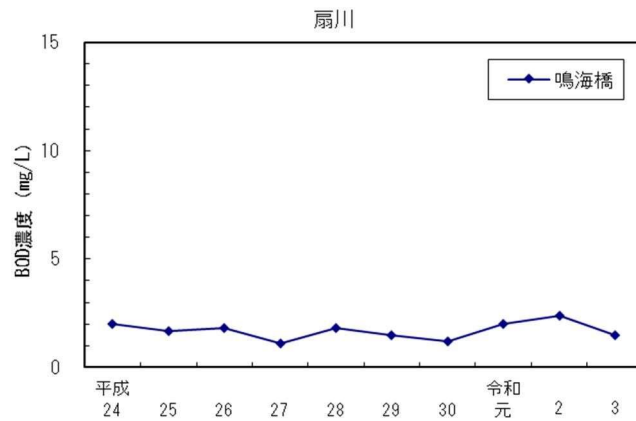
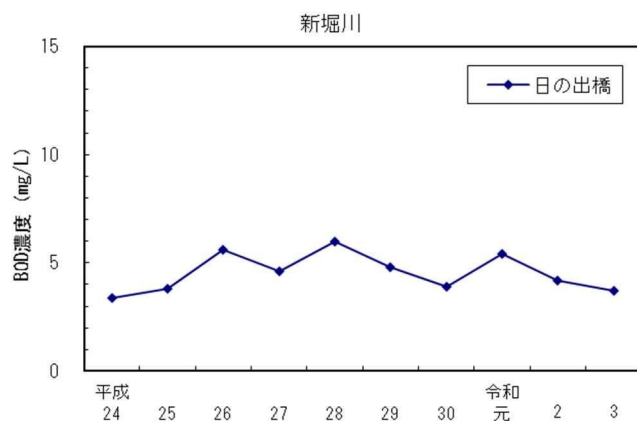
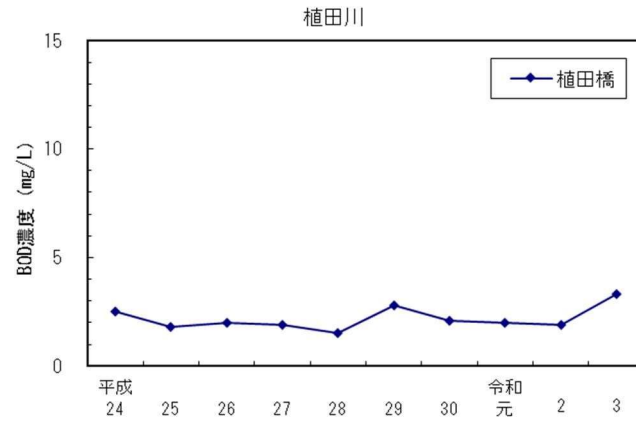
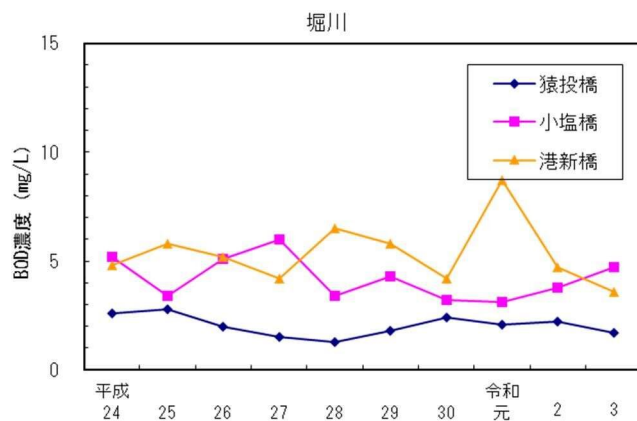
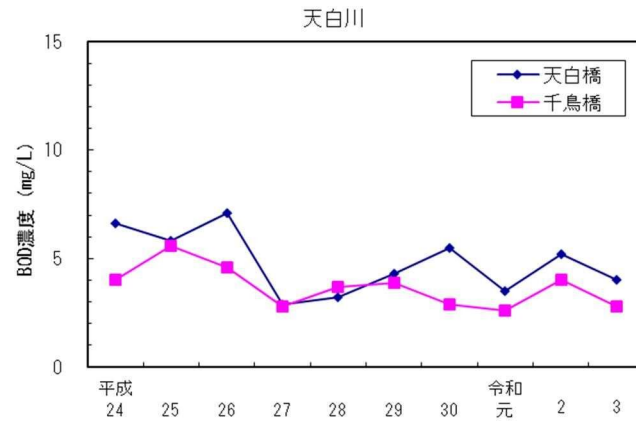
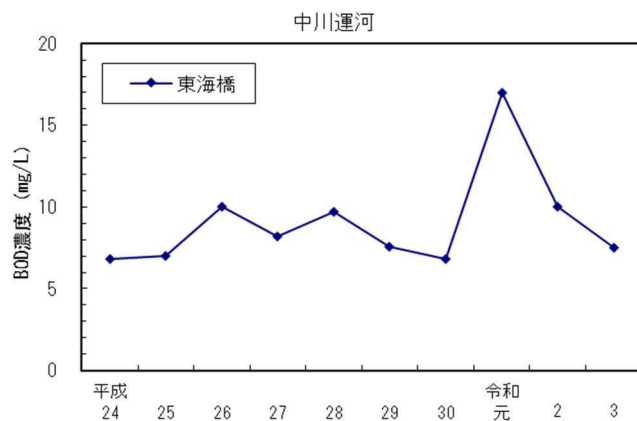
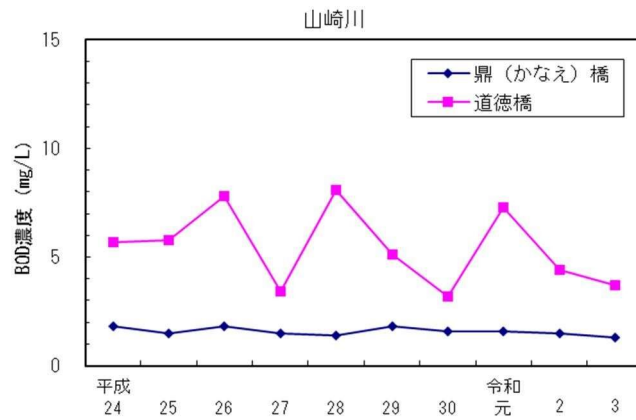
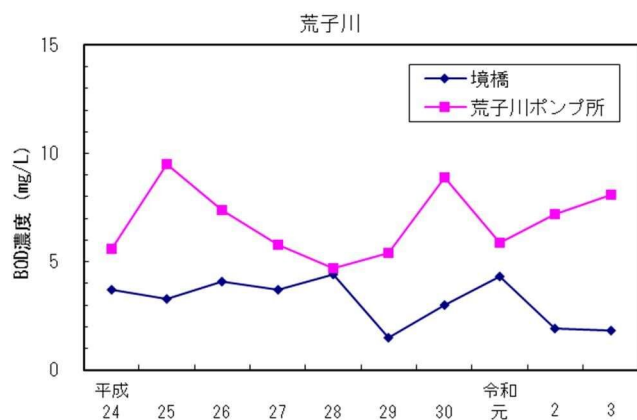
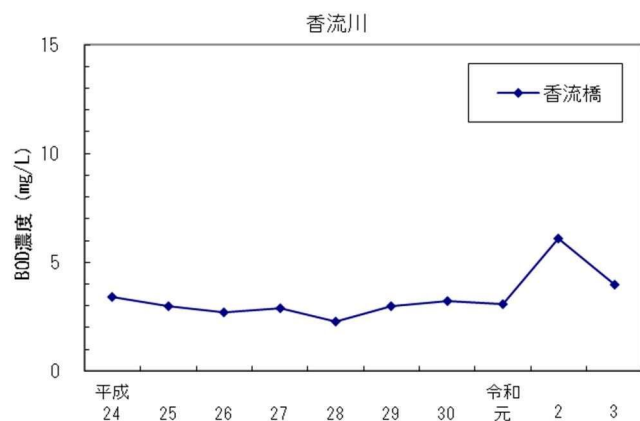
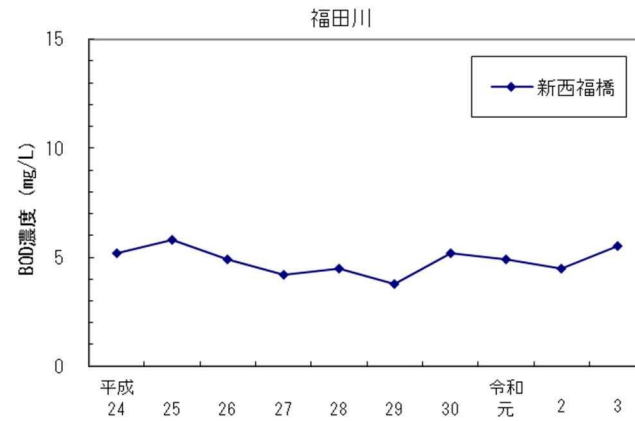
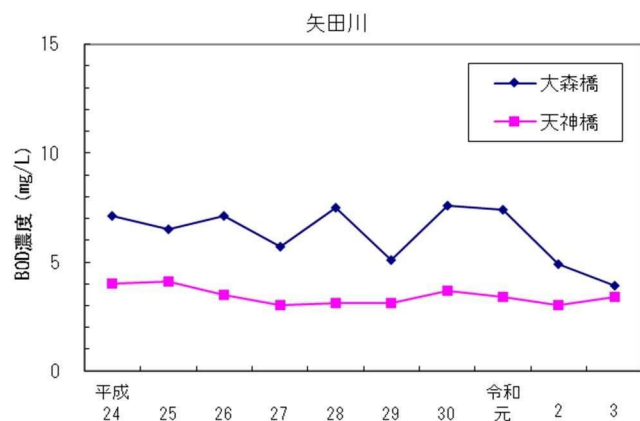
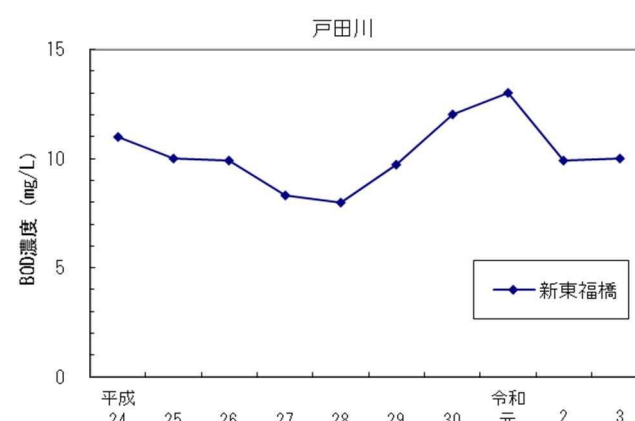
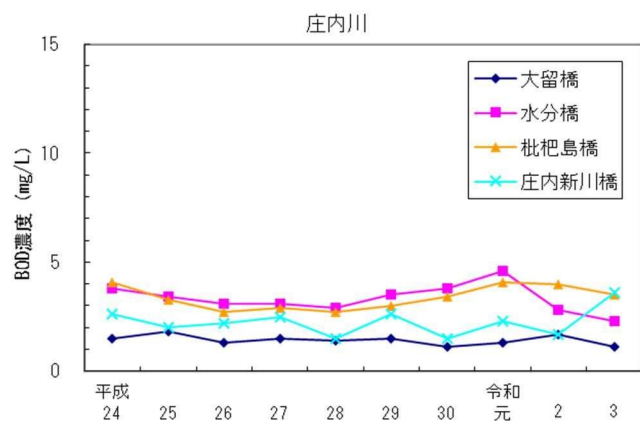
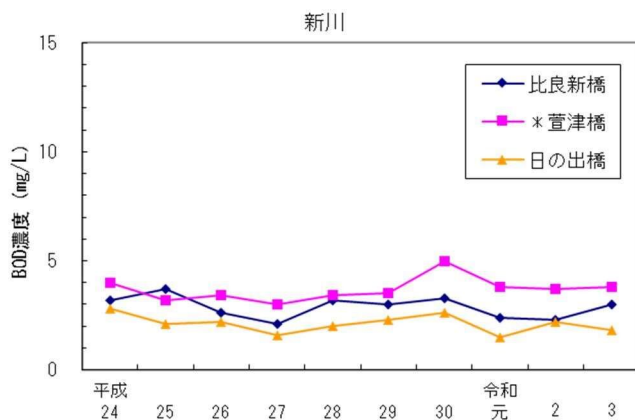
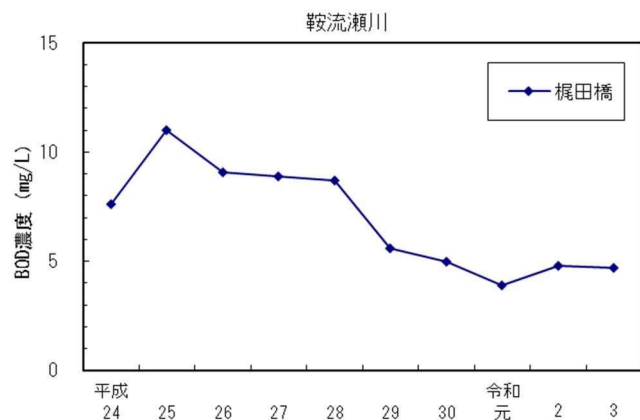
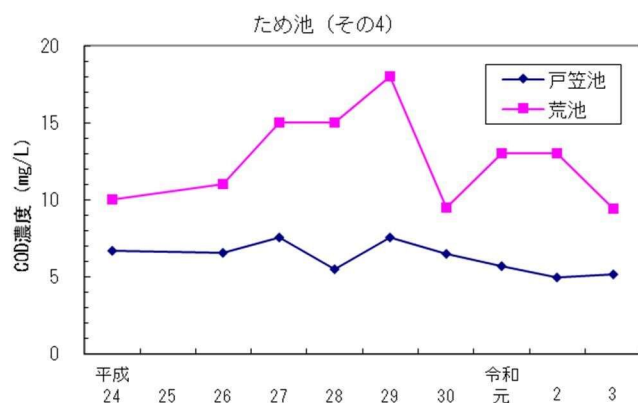
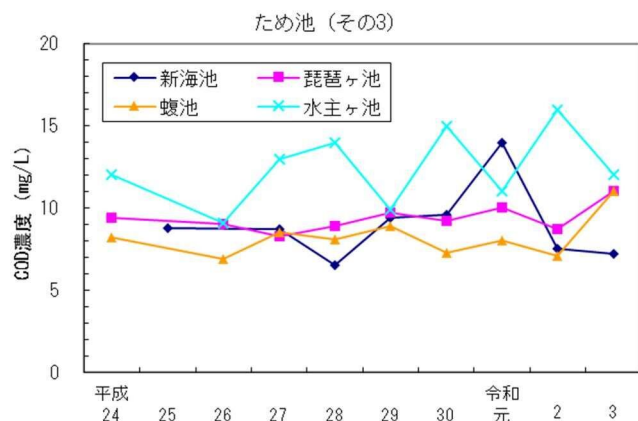
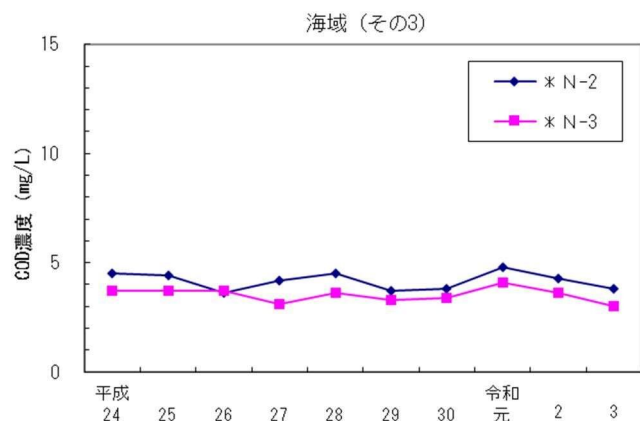
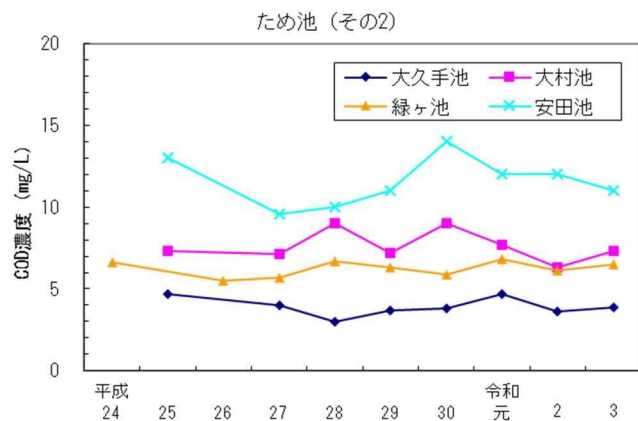
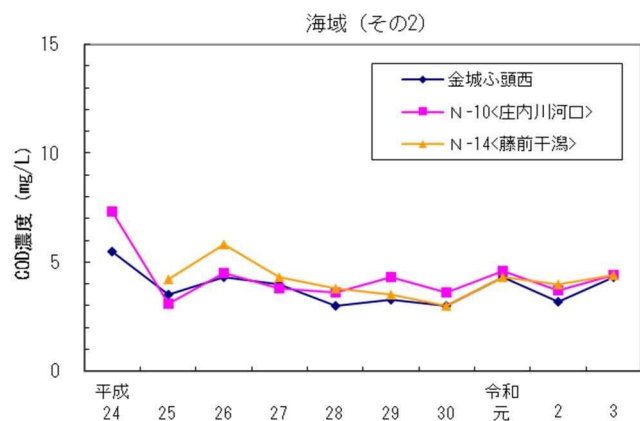
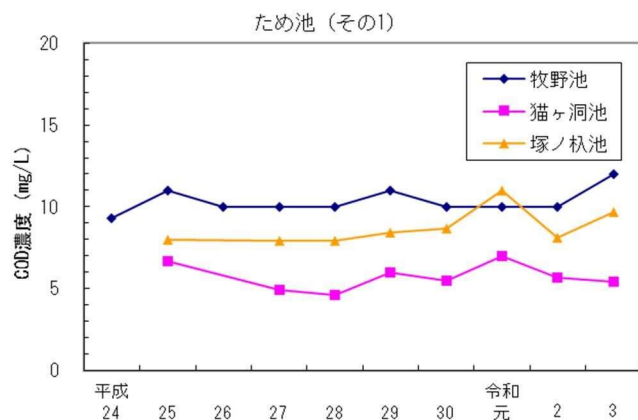
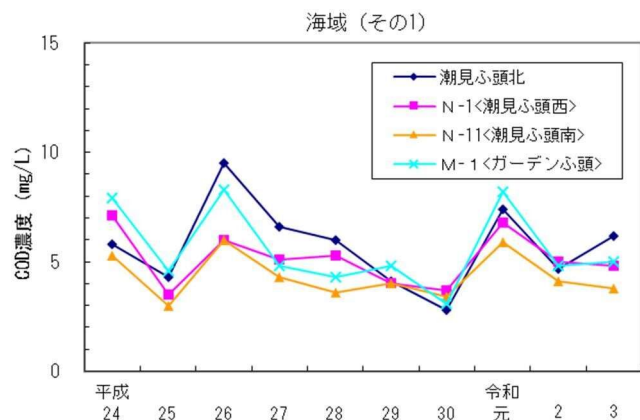


図1-6(1) 75%水質値 (BOD) の10年間の推移



注 *印については市外調査地点であるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

図1-6(2) 75%水質値(BOD)の10年間の推移



注 *印については市外調査地点であるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

図1-6(3) 75%水質値（COD）の10年間の推移

表1-6 pH及びDOの環境基準適合率

(単位：％)

水域名	環境基準点	類型	p H			D O		
			令和 元	2	3	令和 元	2	3
荒子川	荒子川ポンプ所	E	33	33	25	100	100	100
中川運河	東海橋	E	42	58	67	100	100	100
堀川	港新橋	D	100	100	92	100	100	100
山崎川	道德橋	D	100	92	100	92	100	100
天白川	千鳥橋	C	100	100	100	75	92	83
庄内川中流(2)	大留橋	C	92	100	92	100	100	100
	水分橋		100	100	100	100	100	100
庄内川下流	枇杷島橋	C	100	100	100	100	100	100
矢田川上流	大森橋	D	100	100	100	100	100	100
矢田川下流	天神橋	C	92	100	92	100	100	100
名古屋港(甲)	N-1<潮見ふ頭西>	C	58	75	75	100	100	100

注1 適合率＝ $\frac{\text{環境基準に適合した日数}}{\text{総測定日数}} \times 100$

2 「庄内川中流(2)」、「庄内川下流」及び「矢田川下流」については、水域類型が見直され、令和2年3月にD類型からC類型へ引き上げられた。令和元年度の適合率はD類型で評価した。

表1-7 pH及びDOの環境目標値適合率

(単位：％)

水域名	調査地点	地域 区分	p H			D O		
			令和 元	2	3	令和 元	2	3
荒子川	境橋	☆☆☆	100	100	100	92	100	100
堀川	猿投橋	☆☆☆	100	100	100	100	100	100
	小塩橋		100	100	100	58	33	75
新堀川	日の出橋	☆	100	100	100	50	42	67
山崎川	鼎(かなえ)橋	☆☆☆	100	92	100	100	100	100
天白川	天白橋	☆☆	100	100	100	100	100	100
植田川	植田橋	☆☆☆	100	100	100	100	100	100
扇川	鳴海橋	☆☆☆	100	100	100	92	100	92
鞍流瀬川	梶田橋	☆	100	100	100	100	100	100
庄内川	庄内新川橋	☆☆	100	100	100	83	100	75
香流川	香流橋	☆☆	100	100	100	100	100	100
新川下流	比良新橋	☆☆	100	100	100	92	100	100
	日の出橋		100	100	100	75	75	100
戸田川	新東福橋	☆	17	17	25	100	100	100
福田川	新西福橋	☆☆	100	100	100	83	75	83
名古屋港	潮見ふ頭北	☆	50	67	83	100	100	100
	金城ふ頭西	☆☆	83	83	67	83	100	83
	N-10<庄内川河口>	☆☆	67	67	75	100	83	100
	N-11<潮見ふ頭南>	☆	75	92	92	100	100	100
	N-14<藤前干潟>	☆☆	58	58	50	83	83	83
	M-1<ガーデンふ頭>	☆	75	67	75	100	92	92

注 適合率＝ $\frac{\text{環境目標値に適合した日数}}{\text{総測定日数}} \times 100$

表1-8 全窒素・全燐の環境基準達成状況

(単位: mg/L)

水域名	環境基準 類型	調査 地点	全窒素						全 燐							
			環境 基準	経年変化（年度）			達成状況（年度）			環境 基準	経年変化（年度）			達成状況（年度）		
				令和 元	2	3	令和 元	2	3		令和 元	2	3	令和 元	2	3
伊勢湾 （イ）	Ⅳ	N-2	1 以下	1. 2	0. 91	0. 80	○	○	○	0. 09 以下	0. 13	0. 089	0. 072	○	○	○
		N-3		0. 53	0. 61	0. 44					0. 061	0. 065	0. 046			
		N-4		0. 43	0. 41	0. 34					0. 046	0. 052	0. 040			
		平均		0. 72	0. 64	0. 53					0. 079	0. 069	0. 053			

注1 データは、表層の年間平均値である。

2 N-2、3、4は市外調査地点であるが、全窒素及び全燐に係る環境基準点であり、環境基準の達成状況はこの平均値で評価した。

表1-9 全窒素・全燐の環境目標値達成状況

(単位: mg/L)

調査地点	全窒素							全 燐						
	環境 目標値	経年変化（年度）			達成状況（年度）			環境 目標値	経年変化（年度）			達成状況（年度）		
		令和 元	2	3	令和 元	2	3		令和 元	2	3	令和 元	2	3
潮見ふ頭北	1 以下	1.3	1.2	1.3	×	×	×	0.09 以下	0.14	0.11	0.11	×	×	×
金城ふ頭西		1.2	1.3	1.3	×	×	×		0.13	0.12	0.12	×	×	×
N-1<潮見ふ頭西>		1.3	1.1	1.0	×	×	○		0.14	0.11	0.093	×	×	×
N-10<庄内川河口>		1.2	1.2	1.4	×	×	×		0.15	0.13	0.14	×	×	×
N-11<潮見ふ頭南>		0.94	0.94	0.88	○	○	○		0.11	0.090	0.079	×	○	○
N-14<藤前干潟>		1.0	1.0	0.97	○	○	○		0.14	0.13	0.12	×	×	×
M-1<ガーデンふ頭>		1.6	1.2	1.1	×	×	×		0.19	0.12	0.11	×	×	×
牧野池	1 以下	0.76	0.83	0.98	○	○	○	0.1 以下	0.080	0.070	0.080	○	○	○
猫ヶ洞池		0.72	0.62	0.68	○	○	○		0.055	0.039	0.041	○	○	○
大久手池		0.36	0.51	0.33	○	○	○		0.038	0.042	0.030	○	○	○
大村池		0.53	0.66	0.45	○	○	○		0.090	0.070	0.066	○	○	○
緑ヶ池		0.70	0.52	0.44	○	○	○		0.034	0.033	0.045	○	○	○
安田池		1.0	1.3	0.76	○	×	○		0.081	0.093	0.068	○	○	○
塚ノ杓池		0.60	0.68	0.49	○	○	○		0.042	0.030	0.034	○	○	○
戸笠池		0.66	0.97	0.53	○	○	○		0.10	0.036	0.045	○	○	○
新海池		1.1	0.89	0.71	×	○	○		0.061	0.055	0.062	○	○	○
琵琶ヶ池		0.98	0.90	0.92	○	○	○		0.077	0.068	0.091	○	○	○
蝮池		0.83	0.67	0.73	○	○	○		0.060	0.052	0.054	○	○	○
水主ヶ池		3.5	3.0	3.5	×	×	×		0.26	0.23	0.21	×	×	×
荒池		2.4	1.1	0.99	×	×	○		0.23	0.089	0.084	×	○	○

注 データは表層の年間平均値である。

表1-10 全亜鉛・ノニルフェノール・LASの環境基準達成状況

(単位: mg/L)

水域名	環境基準 類型	調査地点	項目	環境基準	経年変化 (年度)			達成状況 (年度)		
					令和 元	2	3	令和 元	2	3
荒子川	生物B	荒子川 ポンプ所	全亜鉛	0.03以下	0.010	0.013	0.012	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00015	0.00015	0.00012	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.0049	0.0067	0.0042	○	○	○
中川運河	生物B	東海橋	全亜鉛	0.03以下	0.027	0.026	0.024	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00014	0.00007	0.00009	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.0010	0.0010	0.0017	○	○	○
堀川	生物B	港新橋	全亜鉛	0.03以下	0.026	0.029	0.020	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00015	0.00009	0.00013	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.010	0.0061	0.0043	○	○	○
山崎川	生物B	道徳橋	全亜鉛	0.03以下	0.023	0.019	0.022	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00012	0.00009	0.00009	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.011	0.0045	0.0039	○	○	○
天白川	生物B	千鳥橋	全亜鉛	0.03以下	0.019	0.021	0.018	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00015	0.00016	0.00015	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.0033	0.014	0.0079	○	○	○
庄内川	生物B	大留橋	全亜鉛	0.03以下	0.009	0.009	0.008	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	<0.00006	<0.00006	<0.00006	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.0009	0.0006	0.0007	○	○	○
		水分橋	全亜鉛	0.03以下	0.022	0.012	0.014	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	<0.00006	<0.00006	<0.00006	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.0080	0.0007	0.0037	○	○	○
		枇杷島橋	全亜鉛	0.03以下	0.019	0.013	0.017	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	<0.00006	<0.00006	<0.00006	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.0049	0.0007	0.0039	○	○	○
矢田川	生物B	大森橋	全亜鉛	0.03以下	0.077	0.030	0.024	×	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00025	0.00007	0.00006	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.013	0.011	0.0071	○	○	○
		天神橋	全亜鉛	0.03以下	0.036	0.018	0.025	×	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00006	<0.00006	<0.00006	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.0083	0.0009	0.0037	○	○	○
新川下流	生物B	* 萱津橋	全亜鉛	0.03以下	0.038	0.023	0.022	×	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00008	0.00006	0.00008	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.017	0.016	0.013	○	○	○
伊勢湾 (イ)	生物 特A	N-14 <藤前干潟>	全亜鉛	0.01以下	0.007	0.011	0.008	○	×	○
			ノニルフェノール	0.0007以下	0.00012	0.00012	0.00009	○	○	○
			L A S	0.006以下	0.0016	0.0021	0.0007	○	○	○

注 *印については市外調査地点であるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

表1-11 ふん便性大腸菌群数の環境目標値適合率

(単位：%)

水域名	地域区分	調査地点	適合率（年度）		
			令和元	2	3
荒子川	☆☆☆	境橋	100	100	100
堀川	☆☆☆	猿投橋	67	75	83
		小塩橋	58	58	58
山崎川	☆☆☆	鼎（かなえ）橋	67	67	75
植田川	☆☆☆	植田橋	75	92	83
扇川	☆☆☆	鳴海橋	100	83	58
庄内川	☆☆☆	大留橋	100	75	100

注 適合率＝ $\frac{\text{環境目標値に適合した日数}}{\text{総測定日数}} \times 100$

表1-12 健康項目に係る環境基準及び水の安全性に関する項目に係る環境目標値の達成状況

測定項目	調査地点数	検体数	環境基準・環境目標値	
			達成地点数	超過検体数
カドミウム	27	73	27	0
全シアン	27	71	27	0
鉛	27	77	27	0
六価クロム	26	71	26	0
砒素	27	49	27	0
総水銀	21	63	21	0
アルキル水銀	6	6	6	0
P C B	18	18	18	0
ジクロロメタン	25	55	25	0
四塩化炭素	25	55	25	0
1,2-ジクロロエタン	25	55	24	4
1,1-ジクロロエチレン	25	55	25	0
シス-1,2-ジクロロエチレン	25	55	25	0
1,1,1-トリクロロエタン	25	55	25	0
1,1,2-トリクロロエタン	25	55	25	0
トリクロロエチレン	25	55	25	0
テトラクロロエチレン	25	55	25	0
1,3-ジクロロプロペン	25	55	25	0
チウラム	24	53	24	0
シマジン	24	53	24	0
チオベンカルブ	24	53	24	0
ベンゼン	25	55	25	0
セレン	24	53	24	0
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	21	55	21	0
ふっ素	14	21	14	0
ほう素	14	21	13	1
1,4-ジオキサン	25	68	25	0
延べ合計数		1410		5

表1-13 要監視項目の測定地点数及び検体数

測定項目	調査 地点数	検体数	検出範囲 (mg/L)	指針値 (mg/L)
ホルムアルデヒド	5	5	<0.003~0.005	1 以下 (類型：生物B)
ニッケル	6	12	<0.001~0.002	—
モリブデン	6	12	<0.007~0.009	0.07 以下
アンチモン	6	12	<0.002	0.02 以下
エピクロロヒドリン	2	8	<0.00004~0.00012	0.0004 以下
全マンガン	7	10	<0.02~0.12	0.2 以下
4-tert- オクチルフェノール	10	10	<0.00003~0.00006	0.004 以下 (類型：河川・生物B)
	1	1	<0.00004	0.0009 以下 (類型：海域・生物A)
	1	1	<0.00004	0.0004 以下 (類型：海域・生物特A)
アニリン	10	10	<0.002	0.02 以下 (類型：河川・生物B)
	2	2	<0.002	0.1 以下 (類型：海域・生物A、海域・生物特A)
2,4- ジクロロフェノール	10	10	<0.0003	0.03 以下 (類型：河川・生物B)
	1	1	<0.0003	0.02 以下 (類型：海域・生物A)
	1	1	<0.0003	0.01 以下 (類型：海域・生物特A)
延べ合計数		95		

表1-14 特殊項目の測定地点数及び検体数

測定項目	調査地点数	検体数	検出範囲 (mg/L)
フェノール類	13	25	<0.01~0.01
銅	10	20	<0.01
鉄 (溶解性)	5	10	<0.01~0.11
マンガン (溶解性)	5	10	<0.01~0.07
クロム	10	16	<0.01
延べ合計数		81	

(7) 底質調査結果

河 川 名		堀川	天白川	庄内川	名古屋港
調査地点		港新橋	千鳥橋	庄内新川橋	N-1 〈潮見ふ頭西〉
測定項目					
調 査 年 月 日		令和3年6月10日	令和3年6月10日	令和3年9月16日	令和3年6月10日
一 般 項 目	気 温 (°C)	27.2	30.1	28.2	26.2
	泥 温 (°C)	26.9	23.2	27.0	19.5
	臭 気	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭
	強 熱 減 量 (%)	12.0	10.0	3.7	12.1
	含 水 率 (%)	62.8	54.6	21.1	74.8
	酸化還元電位 (mV)	-400	-300	-220	-400
	粒 度 分 布	礫 (2mm メッシュ以上) (%)	1.7	0.9	3.3
		砂質 (63 μm メッシュ以上) (%)	40.1	48.4	61.6
		泥質 (%)	58.1	50.6	35.0
	p H	7.7	7.5	7.4	7.8
	C O D (mg/g)	43	30	7.6	27
	全 硫 化 物 (mg/g)	3.6	2.3	0.17	1.3
	ヨウ素消費量 (mg/g)	20	21	—	23
健 康 項 目	カドミウム (ppm)	4.7	0.41	0.17	0.79
	全 シ ア ン (ppm)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	鉛 (ppm)	180	27	17	54
	砒 素 (ppm)	17	5.9	5.3	12
	総 水 銀 (ppm)	0.02	0.01	0.19	0.56
	アルキル水銀 (ppm)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	P C B (ppm)	0.30	0.02	0.01	0.06
特 殊 項 目	フェノール類 (ppm)	0.1	0.1	0.1	0.1
	銅 (ppm)	360	82	43	100
	亜 鉛 (ppm)	660	190	120	130
	ク ロ ム (ppm)	180	29	39	32
	全 窒 素 (ppm)	2400	2200	490	2200
	全 燐 (ppm)	1700	1200	420	1100

(8) 名古屋港内の底層の溶存酸素濃度調査結果

(単位：mg/L)

調査地点	調査月 採取位置	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最小	最大
① 潮見ふ頭北	底層	5.7	—	9.2	—	5.7	—	6.5	—	6.6	—	9.0	—	7.1	5.7	9.2
	(表層)	7.5	—	16	—	4.9	—	13	—	7.6	—	8.8	—	9.6	4.9	16
	(中層)	6.1	—	11	—	6.0	—	7.8	—	7.0	—	9.0	—	7.8	6.1	11
② N-1 潮見ふ頭西	底層	5.4	5.8	4.5	1.8	2.7	3.4	2.9	5.7	6.4	7.3	8.1	6.8	5.1	1.8	8.1
	(表層)	10	8.0	12	19	10	10	11	6.9	7.4	8.4	9.7	6.9	9.9	6.9	19
	(中層)	6.6	6.6	8.2	4.3	6.6	3.6	5.8	5.7	7.5	7.8	9.6	7.1	6.6	3.6	9.6
③ N-10 庄内川河口	底層	5.3	5.0	6.9	3.3	3.3	3.4	3.7	5.1	6.6	8.0	8.6	7.6	5.6	3.3	8.6
	(表層)	8.7	7.5	8.9	8.6	8.0	10	7.0	7.7	8.2	8.7	9.1	7.4	8.3	7.0	10
	(中層)	6.4	5.1	8.0	3.5	5.0	4.5	4.9	5.2	7.3	8.3	8.8	7.4	6.2	3.5	8.8
④ N-11 潮見ふ頭南	底層	6.0	5.8	9.6	3.8	3.2	3.2	4.8	6.4	6.7	7.7	8.8	8.6	6.2	3.2	9.6
	(表層)	7.7	7.3	10	12	4.4	4.6	8.3	7.3	6.9	8.3	9.6	8.6	7.9	4.4	12
	(中層)	6.5	6.3	10	4.4	5.5	6.5	5.9	7.3	6.8	7.9	9.4	8.7	7.1	4.4	10
⑤ M-1 ガーデンふ頭	底層	4.0	4.6	3.0	1.2	3.6	2.6	6.0	4.3	6.7	6.5	7.2	5.4	4.6	1.2	7.2
	(表層)	9.1	7.9	14	18	12	10	7.5	5.2	6.5	7.6	10	7.5	9.6	5.2	18
	(中層)	6.4	5.4	8.1	6.5	5.9	5.0	8.1	4.1	6.8	7.8	9.3	6.2	6.6	4.1	9.3
⑥ 金城ふ頭西	底層	5.7	—	7.5	—	3.4	—	5.7	—	6.6	—	8.5	—	6.2	3.4	8.5
	(表層)	6.4	—	7.4	—	4.1	—	4.7	—	6.5	—	9.0	—	6.4	4.1	9.0
	(中層)	6.0	—	8.0	—	4.3	—	5.7	—	6.6	—	8.8	—	6.6	4.3	8.8

注 1 底層の調査結果は網掛けで示した。

2 表層は水面下0.5m、中層は水面下5.0m、底層は海底上0.5mで測定している。

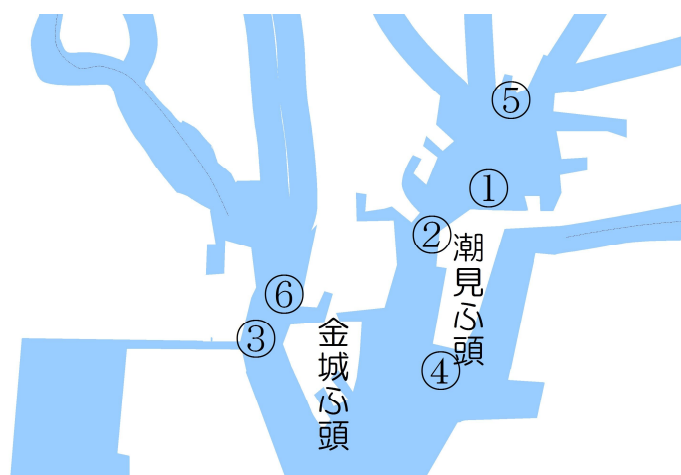


図 1-7 名古屋港内の底層の溶存酸素調査地点図

(9) 荒子川における1,2-ジクロロエタンの環境調査結果について

ア 令和3年度調査結果

(単位：mg/L)

調査地点名	5月	8月	11月	2月	年間平均値
荒子川ポンプ所	0.012	0.011	0.010	0.013	0.012

注 網掛けは環境基準・環境目標値 (0.004mg/L) を超過

イ 経年結果 (環境基準超過以降)

(単位：mg/L)

年 度	年間平均値	年 度	年間平均値
平成 10	0.0064	平成 22	0.0057
平成 11	0.0095	平成 23	0.0081
平成 12	0.016	平成 24	0.0084
平成 13	0.0077	平成 25	0.0089
平成 14	0.0038	平成 26	0.0084
平成 15	0.0065	平成 27	0.016
平成 16	0.0055	平成 28	0.012
平成 17	0.0056	平成 29	0.016
平成 18	0.0052	平成 30	0.018
平成 19	0.0035	令和元	0.013
平成 20	0.0035	令和2	0.013
平成 21	0.0068	令和3	0.012

注 網掛けは環境基準・環境目標値 (0.004mg/L) を超過

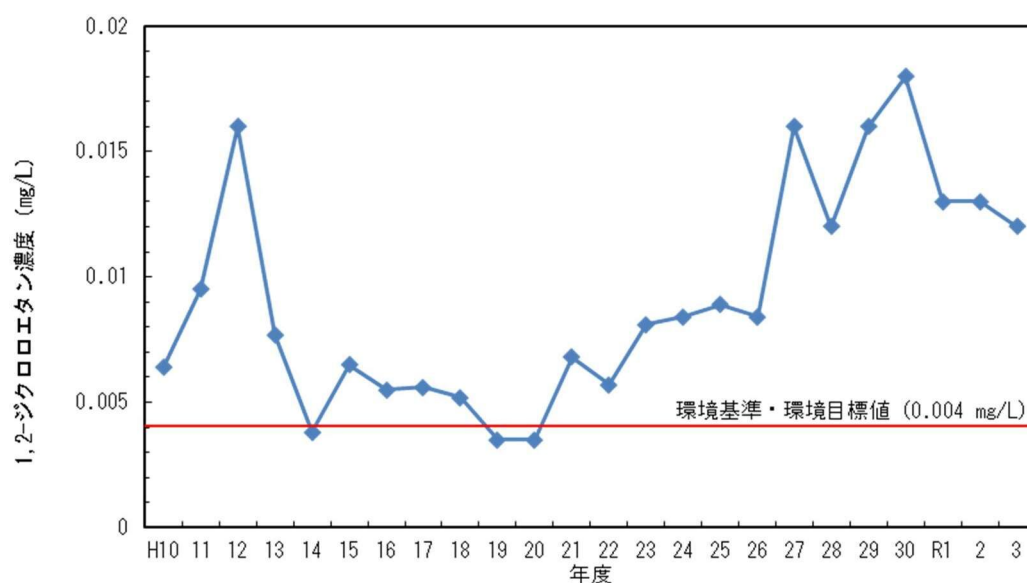


図 1-8 荒子川における1,2-ジクロロエタン濃度の経年推移

<参考>

令和3年度 荒子川北中島橋付近での1,2-ジクロロエタン濃度調査結果

(単位: mg/L)

調査地点名		5月	8月	11月	2月
河川底層水	① 右岸北25m	0.056	0.25	0.17	0.045
	② No.1 観測井横	0.0083	0.32	0.015	0.061
	③ No.3 観測井横	0.29	0.67	0.013	0.048
	④ 橋中央	0.17	0.66	0.0039	0.056
	⑤ No.4 観測井横	0.029	1.1	0.022	0.088
地下水	⑥ No.1 観測井	0.22	0.018	0.91	0.014
	⑦ No.3 観測井	300	11	27	110
	⑧ No.4 観測井	2.8	0.021	0.34	0.68
	⑨ No.2 観測井	150	270	310	24
	⑩ No.5 観測井	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001

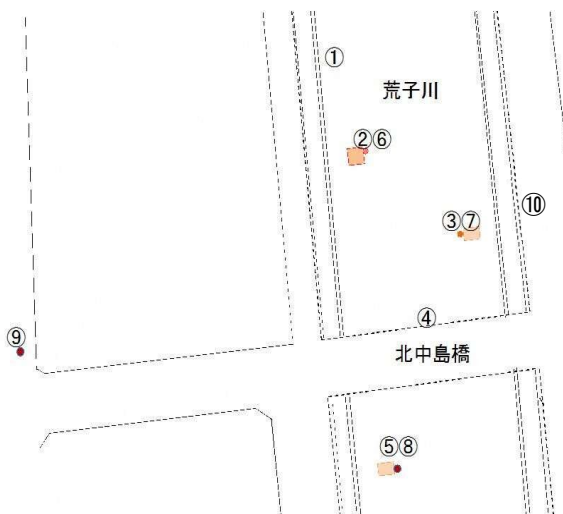


図 1-9 荒子川北中島橋付近での測定地点図

ウ 今後の対応

引き続き、環境科学調査センターと他の研究機関等とで共同して1,2-ジクロロエタンの浄化について調査・研究を行い、その結果を踏まえて浄化対策を検討する。

(10) 扇川におけるほう素の環境調査結果について

ア 令和3年度調査結果(5月)

(単位: mg/L)

調査地点名	測定値
鳴海橋	1.4

注 網掛けは環境基準・環境目標値(1mg/L)を超過

イ 超過の原因(推定)

鳴海橋は感潮域であり、海水には4.5mg/L程度のほう素が含まれることから、海水が混入したことによるものと考えられる。

ウ 今後の対応

ほう素の測定時に電気伝導率を同時に測定し、海水の影響を把握する。

2 水質環境目標値市民モニタリング調査結果

本市では、水質環境目標値の一部に感覚を重視した「親しみやすい指標」を設けている。

市民一人ひとりが河川やため池の状況を観察しながら水質改善活動に取り組むきっかけとなるよう、平成 17 年度秋季以降、「親しみやすい指標」を用いた市内の河川及びため池の調査を市民モニターグループが行っており、令和 3 年度は第 6 期である。

(1) 調査期間

春季：令和 3 年 4～5 月、夏季：令和 3 年 6～8 月、秋季：令和 3 年 9～11 月、
冬季：令和 3 年 12 月～2 月

(2) 調査項目

水質環境目標値のうち「親しみやすい指標」である、下記の項目について調査した。

河 川 (5 項目)	水のにごり (透視度)、水の色、水のおい、ごみ、水の流れ
ため池 (4 項目)	水のにごり (透視度)、水の色、水のおい、ごみ

注 親しみやすい指標の内容及び地域区分は資料 3 を参照

(3) 調査の方法

市民モニター（春季・夏季：34 グループ 132 名、秋季：34 グループ 136 名、冬季：35 グループ 139 名）が担当の調査地点において、原則、各季に 1 回、下記の方法で現地調査を行った。

ア 水のにごり (透視度)

100cm の透視度計を用いた測定

イ 水の色、水のおい、ごみ、水の流れ

目視、においを嗅ぐなど感覚によって、表 1-16 の選択肢を選ぶ方法

表 1-15 環境目標値適合の判断基準

項目	調査結果（選択肢）	河 川			ため池	
		☆☆☆	☆☆	☆	☆☆	☆
水のにごり (透視度)	7 0 cm 以上	○	○	○	○	○
	5 0 cm 以上 7 0 cm 未満	×				
	3 0 cm 以上 5 0 cm 未満					
	3 0 cm 未満					
水の色	ほとんど無色	○	○	○	○	○
	着色はあるが、正常の範囲	×	×	×	×	×
	異常な着色がある					
水の におい	顔を近づけても不快でない	○	○	○	○	○
	水際に寄っても不快でない	×				
	橋や護岸で不快でない					
	橋や護岸にいてだけで不快					
ごみ	ごみは捨てられていない	○	○	○	○	○
	わずかにごみが捨てられている	×	×	×	×	×
	ごみが捨てられているが、不快というほどではない					
	ごみが捨てられていてやや不快					
	ごみが捨てられていて大変不快					
水の流れ	十分である	○	○	○		
	特に気にならない	×	×	×		
	改善すべきだと思う					

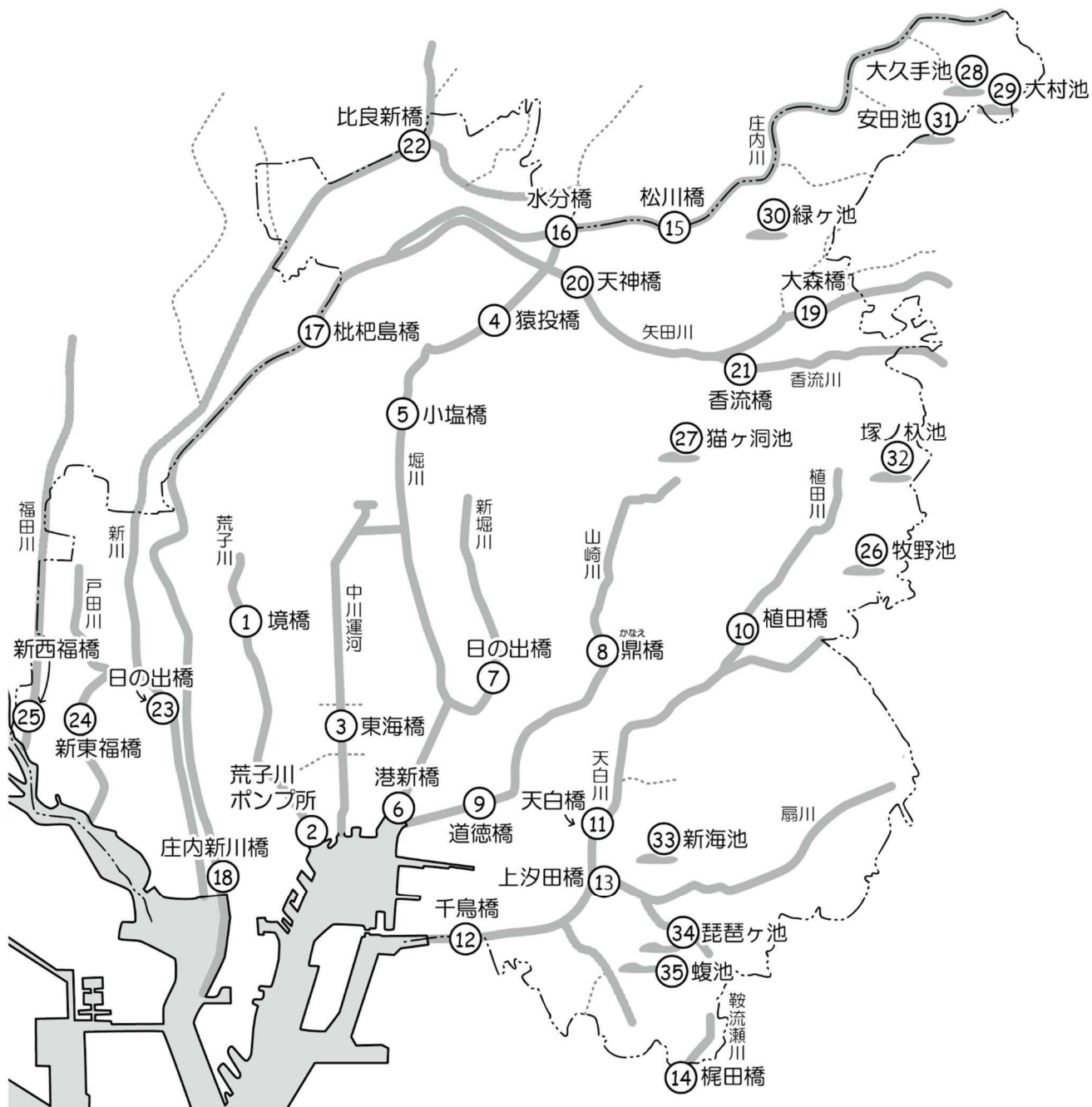
注 1 「○」は適合、「×」は不適合を示す。

2 第 6 期から、「ごみ」についての環境目標値適合の判断基準を見直した。

(4) 調査地点

図 1-10 で示す 15 河川 25 地点、ため池 10 地点で調査を行った。

原則、公共用水域の水質常時監視と同じ調査地点で行ったが、採取の簡易性及び安全性を考慮して、一部地点を変更した。



注 水質常時監視地点のうち、鳴海橋（扇川）、大留橋（庄内川）、戸笠池、水主ヶ池及び荒池の 5 地点では市民モニタリングを行わず、上汐田橋（扇川）及び松川橋（庄内川）の 2 地点において市民モニタリングを行った。

図 1-10 調査地点

(5) 調査結果

市内の河川及びため池を調査した結果、「水のにごり（透視度）」及び「ごみ」の適合率が低い状況であった。

表1-17 親しみやすい指標による環境目標値適合状況（河川）

河川名	地点 番号	調査地点	地域 区分	地点別 適合率 ※	水のにごり (透視度) 単位:cm					水の色 1:ほとんど無色 2:着色はあるが、正常の範囲 3:異常な着色がある				
					春季	夏季	秋季	冬季	目標値	春季	夏季	秋季	冬季	目標値
荒子川	1	境橋	☆☆☆	70	50	50	55	80	70	1	1	1	1	2
	2	荒子川ポンプ所	☆	75	32	62	40	20	30	2	1	2	2	
中川運河	3	東海橋	☆☆	55	14	15	24	41	50	3	2	2	1	
堀川	4	猿投橋	☆☆☆	100	100	100	100	75	70	1	1	1	1	
	5	小塩橋	☆☆☆	95	88	74	64	84	70	2	2	2	2	
	6	港新橋	☆☆	85	95	100	76	88	50	1	1	2	2	
新堀川	7	日の出橋	☆	95	66	18	94	56	30	1	1	2	1	
山崎川	8	鼎(かなえ)橋	☆☆☆	90	100	100	100	100	70	1	1	2	1	
	9	道德橋	☆	75	72	26	75	100	30	1	2	1	1	
植田川	10	植田橋	☆☆☆	80	100	100	100	100	70	1	1	2	2	
天白川	11	天白橋	☆☆	80	58	17	100	100	50	2	2	2	1	
	12	千鳥橋	☆☆	60	61	31	85	95	50	1	2	1	1	
扇川	13	上汐田橋	☆☆☆	80	40	79	90	100	70	1	1	2	1	
鞍流瀬川	14	梶田橋	☆	85	40	40	40	40	30	1	1	1	1	
庄内川	15	松川橋	☆☆☆	75	66	61	66	76	70	1	1	2	1	
	16	水分橋	☆☆	75	13	61	93	76	50	3	1	1	1	
	17	枇杷島橋	☆☆	80	73	62	84	50	50	1	1	1	1	
	18	庄内新川橋	☆☆	75	55	80	38	100	50	1	1	1	1	
矢田川	19	大森橋	☆	80	92	93	94	93	30	1	1	2	1	
	20	天神橋	☆	93	84	36	56	-	30	2	2	1	-	
香流川	21	香流橋	☆☆	80	75	80	70	76	50	2	1	2	2	
新川	22	比良新橋	☆☆	85	70	91	100	20	50	1	1	2	2	
	23	日の出橋	☆☆	70	62	60	40	50	50	1	1	2	1	
戸田川	24	新東福橋	☆	40	21	22	23	11	30	2	2	2	2	
福田川	25	新西福橋	☆☆	60	39	30	38	34	50	1	1	1	1	
項 目 別 適 合 率 ※					71					98				

注、凡例

数字

数字は調査結果
網掛は目標値に適合していないことを示す

数字

*適合率＝適合したデータ数／全データ数
(適合率は小数点以下を切り捨て)

水のにおい 1:顔を近づけても不快でない 2:水際に寄っても不快でない 3:橋や護岸で不快でない 4:橋や護岸にいただけで不快					ごみ 1:ごみは捨てられていない 2:わずかにごみが捨てられている 3:ごみが捨てられているが、不快というほどではない 4:ごみが捨てられていてやや不快 5:ごみが捨てられていて大変不快					水の流れ 1:十分である 2:特に気にならない 3:改善すべきだと思う				
春季	夏季	秋季	冬季	目標値	春季	夏季	秋季	冬季	目標値	春季	夏季	秋季	冬季	目標値
1	1	1	1	1	3	2	1	2	1	1	1	1	1	2
1	1	1	1	3	2	3	2	2		2	2	2	1	
1	1	1	1	2	3	2	2	2		2	2	2	2	
1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	2	
1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	2	2	1	
1	1	1	1	2	4	2	1	2		1	2	1	1	
3	3	1	3	3	1	1	1	1		2	2	2	2	
1	1	1	1	1	2	1	2	1		2	2	2	2	
1	1	1	1	3	2	2	2	2		1	1	2	2	
1	1	1	1	1	4	5	4	5		1	1	2	2	
1	1	1	1	2	1	2	3	3		1	1	1	1	
4	3	3	1	2	4	3	3	2		1	2	2	2	
1	1	1	1	1	2	2	1	2		2	1	1	1	
1	1	1	1	3	1	2	2	3		1	2	2	1	
1	1	3	1	1	1	2	1	1		2	2	1	1	
1	1	1	1	2	4	1	2	2		1	1	1	2	
1	1	1	1	2	4	5	2	4		2	1	1	1	
1	1	1	1	2	4	4	4	4		1	1	1	1	
1	1	2	1	3	3	2	3	3		2	2	2	2	
1	1	1	－	3	1	1	2	－		1	2	1	－	
1	1	2	2	2	2	3	2	3		2	2	1	1	
1	1	1	1	2	1	3	2	1		1	2	1	2	
1	1	3	1	2	4	4	4	5		2	2	2	2	
1	1	1	1	3	2	2	2	5		3	3	3	3	
1	1	1	1	2	2	2	2	2		1	1	1	1	
95					27					96				

表1-18 親しみやすい指標による環境目標値適合状況（ため池）

地点 番号	調査地点	地域 区分	地点別 適合率※	水のにごり (透視度) 単位:cm					水の色 1:ほとんど無色 2:着色はあるが、正常の範囲 3:異常な着色がある				
				春季	夏季	秋季	冬季	目標値	春季	夏季	秋季	冬季	目標値
26	牧野池	☆☆	100	95	96	91	97	50	1	1	2	1	2
27	猫ヶ洞池	☆☆	50	41	56	-	37		1	1	2	2	
28	大久手池	☆☆	100	33	35	20	60		2	1	2	2	
29	大村池	☆☆	75	40	66	28	61		1	2	2	2	
30	緑ヶ池	☆☆	100	74	47	59	70		1	1	2	1	
31	安田池	☆☆	50	17	41	17	14		2	1	2	2	
32	塚ノ杵池	☆☆	100	48	73	82	50		1	2	2	2	
33	新海池	☆☆	25	44	37	26	40		2	2	2	3	
34	琵琶ヶ池	☆☆	75	35	34	75	31		2	2	2	2	
35	蝮池	☆☆	50	23	23	-	11		2	2	-	2	
項目別適合率*				39					97				

注、凡例

数字

数字

数字は調査結果
網掛は目標値に適合していないこと（適合率は小数点以下を切り捨て）を示す

*適合率＝適合したデータ数／全データ数

表1-19 親しみやすい指標による環境目標値適合率

(単位：%)

項目	河 川			ため池		
	令和 元	2	3	令和 元	2	3
水のにごり (透視度)	68	69	71	35	36	39
水の色	99	100	98	97	100	97
水のおい	94	91	95	97	96	100
ごみ	74	31	27	100	40	62
水の流れ	100	97	96			

水の 1:顔を近づけても不快でない 2:水際に寄っても不快でない 3:橋や護岸で不快でない 4:橋や護岸にいただけで不快					ごみ 1:ごみは捨てられていない 2:わずかにごみが捨てられている 3:ごみが捨てられているが、不快 というほどではない 4:ごみが捨てられていてやや不快 5:ごみが捨てられていて大変不快				
春季	夏季	秋季	冬季	目標値	春季	夏季	秋季	冬季	目標値
1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
1	1	1	1		2	1	1	2	
1	1	1	1		1	1	1	1	
1	1	1	1		2	2	2	2	
1	1	1	1		1	1	1	1	
1	1	1	1		2	2	2	2	
1	1	1	1		1	1	1	1	
1	1	1	1		2	2	2	3	
1	2	1	1		1	1	1	1	
1	1	-	1		1	1	-	4	
100					62				

<参考>

「ごみ」に関する環境目標値適合の判断基準の見直しについて

ごみの捨てられている状態を感覚的・段階的に捉えるため、捨てられているごみの量や不快感の程度に応じて5段階の選択肢を設けている。

令和元年度の調査結果までは、地域区分が「☆」又は「☆☆」の調査地点については、回答が「1:ごみは捨てられていない」、「2:わずかにごみが捨てられている」、「3:ごみが捨てられているが、不快というほどではない」であった場合には環境目標値に適合しているものとして判断していた。

しかし、環境目標値では「ごみが捨てられていないこと。」と定めていることから、市民モニター第6期(令和2年度)から、回答が「1:ごみは捨てられていない」であった場合のみ、環境目標値に適合しているものと判断するように見直した。

<参考>

パックテストを用いた簡易水質調査結果

河川名	地点番号	調査地点	地域区分	p H				C O D (mg/L)			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
荒子川	1	境橋	☆☆☆	7.0	7.0	7.0	7.0	4.0	0	0	4.0
	2	荒子川ポンプ所	☆	9.0	7.5	9.0	9.0	12	10	10	6.0
中川運河	3	東海橋	☆☆	9.5	7.5	7.0	7.0	10	5.0	4.0	10
堀川	4	猿投橋	☆☆☆	7.0	7.0	6.5	7.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	5	小塩橋	☆☆☆	7.0	6.5	6.5	7.0	13	13	6.0	10
	6	港新橋	☆☆	8.0	7.3	7.6	8.0	2.0	6.0	5.0	2.0
新堀川	7	日の出橋	☆	7.0	6.5	6.6	7.0	16	16	12	7.0
山崎川	8	鼎（かなえ）橋	☆☆☆	6.5	7.0	6.5	6.5	0	4.0	0	2.0
	9	道德橋	☆	7.5	9.0	7.5	7.5	20	6.0	7.0	2.0
植田川	10	植田橋	☆☆☆	9.0	7.0	7.5	7.5	6.0	7.0	7.0	8.0
天白川	11	天白橋	☆☆	7.0	7.0	7.0	7.0	13	20	5.0	5.0
	12	千鳥橋	☆☆	7.0	8.0	7.3	7.0	6.0	2.0	3.0	4.5
扇川	13	上汐田橋	☆☆☆	7.5	7.5	7.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0
鞍流瀬川	14	梶田橋	☆	8.5	8.0	8.0	7.5	2.0	2.0	2.0	0
庄内川	15	松川橋	☆☆☆	7.0	7.0	7.0	8.5	6.0	6.0	4.0	2.0
	16	水分橋	☆☆	7.0	6.8	6.7	7.0	7.0	7.0	16	6.0
	17	枇杷島橋	☆☆	7.0	7.5	7.5	6.7	13	8.0	5.0	12
	18	庄内新川橋	☆☆	7.5	7.1	7.7	8.5	4.0	5.0	4.0	5.0
矢田川	19	大森橋	☆	7.5	7.0	7.0	7.0	10	10	13	6.0
	20	天神橋	☆	8.5	7.5	7.0	－	4.0	6.0	6.0	－
香流川	21	香流橋	☆☆	7.5	7.5	7.5	7.0	7.0	0	6.0	6.0
新川	22	比良新橋	☆☆	7.0	7.0	7.0	8.0	2.0	0	0	0
	23	日の出橋	☆☆	7.0	7.5	7.5	8.5	2.0	0	0	0
戸田川	24	新東福橋	☆	9.5	9.0	9.0	9.5	10	13	10	12
福田川	25	新西福橋	☆☆	7.5	7.5	7.5	7.5	13	13	13	13

地点 番号	調査地点	地域 区分	p H				C O D (mg/L)			
			春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
26	牧野池	☆☆	7.0	7.0	7.0	7.5	10	20	0.0	4.0
27	猫ヶ洞池	☆☆	8.0	7.5	7.0	7.0	4.0	5.0	4.0	2.0
28	大久手池	☆☆	7.0	7.0	7.0	6.5	6.0	6.0	6.0	6.0
29	大村池	☆☆	7.0	7.0	7.0	7.0	4.0	6.0	2.0	2.0
30	緑ヶ池	☆☆	9.0	8.0	7.0	7.0	10	6.0	6.0	5.0
31	安田池	☆☆	6.5	7.5	7.5	9.5	18	10	5.0	5.0
32	塚ノ杓池	☆☆	7.0	6.5	6.5	6.5	10	6.0	6.0	6.0
33	新海池	☆☆	7.5	7.5	9.0	7.0	4.0	6.0	4.0	5.0
34	琵琶ヶ池	☆☆	9.5	8.5	9.0	7.5	0.0	4.0	0.0	0.0
35	蝮池	☆☆	7.5	7.5	－	8.5	5.0	5.0	－	10